宮城県出身の
○○の父　○○の母

「民主憲法の父」
千葉　卓三郎（ちば　たくさぶろう）

栗原市志波姫出身
1852年（嘉永5年）－1883年（明治16年）
教育者、自由民権運動家、五日市憲法の起草者

西多摩郡五日市町（現・東京都あきる野市）で教壇に立つ傍ら、自由民権運動に参加し、憲法草案の起草という偉業を成し遂げた。

「女子体育の母」
二階堂　トクヨ（にかいどう　とくよ）

大崎市三本木出身
1880年（明治13年）－1941年（昭和16年）
体育指導者・教育者

日本初の女子オリンピック選手である人見絹枝のほか、８名のオリンピック選手を育てた。

宮城県出身の
○○の父　○○の母

「バリ島の父」
三浦　襄（みうら　じょう）

東京都出身（仙台市在住）
1888年（明治21年）－1945年（昭和20年）
実業家

第二次世界大戦時に日本の占領下にあったバリ島でインドネシア解放の大義を信じ、軍部と現地社会との仲介役として活躍した。

「近代上水道の父」
中島　鋭治（なかじま　えいじ）

仙台市出身
1858年（安政5年）－1925年（大正14年）
土木技術者、工学博士

駒沢給水塔の設計者。東宮御所の水道施設をはじめ日本や旧満州の多くの近代水道施設を手がけた。

宮城県出身の
○○の父　○○の母

「日本民主主義の父」
吉野　作造（よしの　さくぞう）

大崎市古川出身
1878年（明治11年）－1933年（昭和8年）
政治学者、思想家

「国民のための国民による政治」を目指し、議会を中心とする政治の実現に力を尽くした。

「薙刀一筋に生きた女性剣士」
園部　秀雄（そのべ　ひでお）

大崎市岩出山出身
1870年（明治3年）－1963年（昭和38年）
武道家・直心影流薙刀術第15代

生涯で敗北した試合は1回*のみといわれる。東京の女学校や道場で、薙刀の指導を通して心を磨く教育を目指した。幼名は「たりた」。　＊文献によっては2回とも言われる。

「生命の誕生を見守る助産師」
谷津　はつね（やつ　はつね）

伊具郡丸森町出身
1907年（明治40年）－1996年（平成8年）
助産師

助産師として多くの自宅出産に立ち会ったほか、産婦や新生児の健康に関する指導を行い、山間地域の医療と福祉に貢献した。

「民謡育ての親」
後藤　桃水（ごとう　とうすい）

東松島市出身
1880年（明治13年）－1960年（昭和35年）
民謡家

日本各地の郷土に伝わる唄を掘り起こし、唄い手を育てた。「野蒜甚句」の作詞・作曲、「八戸小唄」の作曲、「大漁唄い込み」の創作などが有名。

宮城県出身の
○○の父　○○の母

「石垣島近代化の父」
岩崎　卓爾（いわさき　たくじ）

仙台市出身
1869年（明治2年）－1937年（昭和12年）
気象観測技術者

石垣島において気象観測を通じ台風の研究を行った。一方で、生物、民俗、歴史に関する調査を行い、八重山研究の基礎を築いた。

「東洋のコロンブス」
横尾　東作（よこお　とうさく）

加美郡加美町出身
1839年（天保10年）－1903年（明治36年）
仙台藩士、英学者、探検家

硫黄島探検航海を成し遂げ、火山列島の日本領編入のきっかけとなった。南進論の立役者。